

みその味はおばあちゃんの心

群馬県桐生市立川内小学校五年 新井 雅夕

私の家のみそは手作りです。とても甘くて優しい味がします。寒い季節になると、おばあちゃん達が毎年みそを仕込みます。家中に大豆の煮た甘い香りがしていると、今日はみそを仕込む日だとすぐに分かります。私は必ず、つぶす前の大豆をつまみ食います。甘くてやわらかくてとても美味しいです。

みそ作りは、遊んでいるみたいでおもしろいです。特にみそ玉を作ったるに投げ入れ作業は楽しいです。しかし、遊んでいるのではなく、空気を抜きながらすき間ができない様に詰める為に投げ入れます。すき間があるとカビがはえてしまうそうです。

私の家のみそは、私達の好きな味になっています。私達が体に良い物を美味しく食べられる様に、おばあちゃんが大豆と塩とこうじの分量を考えてくれました。こうじが多めの甘いみそです。

「食べた物は、体になるんだよ。おばあちゃんは、みんながいつも元気で健康でいて欲しいんだよ。」

とみそを作りながら、おばあちゃんは優しく笑います。甘くて優しい味のおみそは、まるでおばあちゃんの心の様です。

おばあちゃんは、「みんなの喜ぶ顔が好き」と言って、たくさん愛情と優しさをくれます。そんなおばあちゃんが、私は大好きです。

おばあちゃん、自分の事よりもいつも、私達の事を一番に想ってくれてありがとう。どんなわがままも受け止めてくれてありがとう。そして、生きていくための大切な事をたくさん教えてくれてありがとう。

最近、おばあちゃんが足が痛くて歩くのが大変だと言っていました。私は母にみっぺい袋で簡単にできる、みその作り方を教えてもらったので、今度は私がおばあちゃんにおみそを作ってみようと思います。いつまでも元気で、健康でいられる様に願いをこめて…。